

# 環境関連の取り組みについて



## バイオマス マーク

### バイオスマークとは

バイオスマークは生物由来の資源（バイオマス）を活用し、品質及び安全性が関連する法規、基準、規格等に適合している環境商品の目印です。

マークの中の数字は「バイオマス度」を示しています。「バイオマス度」は、商品の乾燥重量に対して使用したバイオマスの乾燥重量の割合を示し、%で表しております。

(一般社団法人日本有機資源協会 HP より抜粋)



## Plastics Smart ロゴマーク

### プラスチック・スマートとは

環境省では、世界的な海洋プラスチック問題の解決に向けて、個人・自治体・NGO・企業・研究機関など幅広い主体が連携協働して取組を進めることを後押しするため、2018年10月に「プラスチック・スマート -for Sustainable Ocean-」と銘打ったキャンペーンを立ち上げました。

本キャンペーンでは、ごみ拾いイベントへの参加やマイバッグの活用などの個人の行動・アイデアや、自治体・NGO・企業・研究機関などによるポイ捨て・不法投棄撲滅の運動やプラスチックの3Rなどの取組を募り、その取組をキャンペーンサイトや各種イベントなどを通じて広く国内外に発信しています。

(環境省 HP より抜粋)



## エコマーク

### エコマークとは

エコマークは、様々な商品（製品およびサービス）の中で、「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられる環境ラベルです。このマークを活用して、消費者のみなさんが環境を意識した商品選択を行ったり、関係企業の環境改善努力を進めていくことにより、持続可能な社会の形成をはかっていくことを目的としています。

(公益財団法人 日本環境協会 エコマーク事務局 HP より抜粋)



## SDGsロゴ

### SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs : Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

(外務省 HP より抜粋)